

地域に根ざした観光振興

開催概要

自治体の新任観光担当者を想定対象者とし、観光担当者として必要な知識とノウハウを総合的に習得してもらう講座として毎年6月に実施している。旅行マーケットの動向、経済波及効果、観光プロモーション、旅行商品化、観光地活性化、国際観光振興、人材育成などを基本テーマとする。

担当者：久保田美穂子 岩崎比奈子

日時：04年6月17日～18日

場所：第一鉄鋼ビル会議室

主催：(財)日本交通公社

プログラム

6月17日

10:00～10:30 オリエンテーション

10:30～11:45 旅行マーケットの現状と変化

－今誰をターゲットにするのか？

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 久保田美穂子

12:45～14:00 地域とエージェントの協働による商品づくり

－旅行会社からみた温泉地の旅行商品化

講師：(株)JTB営業企画本部経営企画室 小林裕和氏

14:15～15:30 外国人の訪日旅行の現状と変化

－地域で考える「訪日外国人旅行」のあり方

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 林俊介

15:45～17:00 地域における人材の発掘・育成

－地域の将来を考えられる人づくりとは？

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 朝倉はるみ

17:00～19:30 受講者自己紹介／意見交換会

6月18日

9:30～10:45 自治体における観光の経済波及効果推計システム

－地域における観光経済の大きさとは？

講師：(財)日本交通公社 主任研究員 山田雄一

11:00～12:15 温泉観光地再生へのヒント ー地域で始まった、最近の取り組み事例から

講師：(財)日本交通公社 研究員 岩崎比奈子

13:15～14:30 自然を活かした誘客戦略づくり

－ありふれた地域資源が感動を生む

講師：(財)日本交通公社 研究員 堀木美告

14:45～16:00 都市観光の視点からの地域振興

－住んでよし、訪れてよしの地域づくり

講師：(財)日本交通公社 研究調査部次長 梅川智也

16:00～16:30 総括：観光はまちづくりの総仕上げ

講師：東京工業大学 名誉教授 鈴木忠義氏

参加者概要

参加者数32名(募集定員30名)

(内訳)都道府県6名、市町村8名、都道府県観光協会(ビューロー)3名、市町村観光協会3名、公的宿泊施設1名、その他11名